

（ 数学Ⅰ ） 学習指導案						
学年・組	1 年 7・8 組	教室	108 教室	指導者	壺内 智士	
単 元	第2章 2次関数		教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）		
指導 目 標	1 2次関数の値の変化をグラフで調べる ことにより、最大値・最小値を求められる ようにさせる。 2 2次関数のグラフと x 軸の位置関係を利用 して2次不等式を解けるようにさせる。		指導 計 画	第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ・・・・・・・・・・2時間 2 2次関数のグラフ・・・・・・・・・・5時間 (本時はその2時間目) 補充問題・・・・・・・・・・1時間		
	主題	2次関数のグラフ				
目標	1 $y = ax^2$ のグラフと $y = ax^2 + q$ や $y = a(x - p)^2$ のグラフを通して、グラフの平行移動 を理解させる。 2 放物線の性質の利用を通して、数学が実生活に利用されていることを認識させる。					
課題	教科書P. 73～75を読んでくる。					
本 時 の 指 導 展 開 程 序	学習活動		時間	指導上の留意点	資料・評価規準等	
	導 入	1 前時の課題の確認をする。	5	・真剣に発表できる雰囲気 を作らせる。 ・本時の目標を確認させ る。		
		2 本時の目標の確認をする。				
	展 開	1 $y = ax^2 + q$ や $y = a(x - p)^2$ のグラフを考える。	30	・ $y = 2x^2$ のグラフを y 軸方向に平行移動した ものであることを理解 させる。 ・ $y = 2x^2$ のグラフを x 軸方向に平行移動した ものであることを理解 させる。		・授業プリント ・教具 【評価規準】 ・ $y = ax^2 + q$ や $y = a(x - p)^2$ のグラ フが $y = ax^2$ のグラフ を平行移動したもので あることが理解でき る。 (数学的な技能) 【評価方法】 ・机間指導による確認及 び発表態度
		(1) $y = 2x^2 + 3$ のグラフを考 える。 (2) $y = 2(x - 3)^2$ のグラフを 考える。				
展 開	2 放物線の性質について観察す る。	10	・全員が見えるように前 に集合させる。 ・数学Ⅲで学ぶことを伝 え、興味をもたせる。	・教具		
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。	5	・本時の学習内容を確認 させる。			
備 考	A講座 生徒数 39名(男子 18名, 女子 21名)					